



大崎雅彦

WORK'S (共同作業所)

〒601-8022京都市南区北松ノ木町13-8

第8号

TEL075-682-3201・FAX075-682-3330

第1版

編集責任者

1999.08.10発行

残暑お見舞い申し上げます

◎◎◎ 阪急、京阪電車乗車日記 ◎◎◎

荒木正幸

京阪に乗るためには一旦地上に上がらなくてはなりません。地下道から四条高島屋のエレベーターで四条通りに出て鴨川を渡り、有名な南座の向かい側にある京阪四条駅のエレベーターで再び地下に降ります。こちら京阪は地下化されて10年ほどになるのですが、ホームへのエレベーターとスロープ板が完備された便利な駅にな

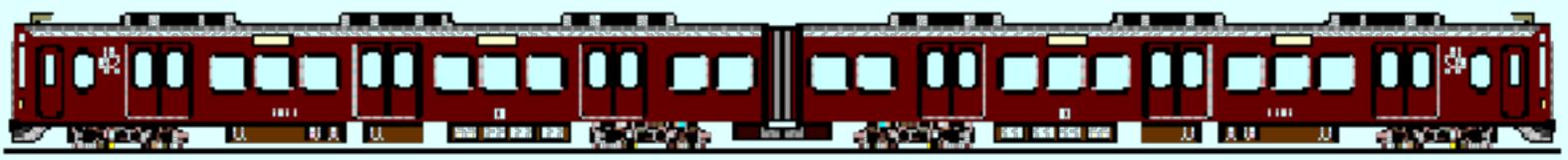
っています。樟葉駅まではここから急行で40分、阪急での乗車時と同じく駅

員さんに最後部の車輌に乗せてもらい、樟葉駅への連絡をお願いするとひと安心です。カーブ区間の多い京阪ですが丹波橋駅や八幡市駅などまだまだ

設備の整っていない駅が多いようです。その中でも中書島駅や樟葉駅などはかなり設備が整っていて、今後この



ような駅が増えてくることを望みます。樟葉駅では急行が特急を待避するために長く停車しますので余裕を持って降りられました。この樟葉駅にはスロープ板の他、エレベーター、障害者用トイレ等が完備されている他、駅員さんもかなりたくさんおられる様子で、バスターミナルと飲食店街が賑わう大きな駅でした。阪急東向日駅から京阪樟葉駅まで、最終的には1時間半かかりました。阪急河原町駅から京阪四条駅までの移動に以外と時間がかかるものですね。四条通りの歩道を、人ごみをかき分けて行かなくてはならないので、雨でも降れば車いすで通るのにはかなりの苦勞です。しかしこのように利用すれば便利というような目安があれば、公共の鉄道交通も安心して利用できます。



感 想

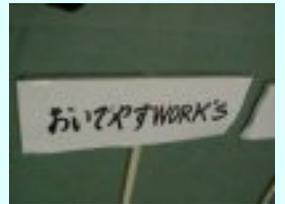
6月の第三日曜の事です、京都市障害者スポーツ大会が教育大であり午後から見にいきました、ラムネ飲み競争、玉入れなど楽しいものでした、運動会といえ



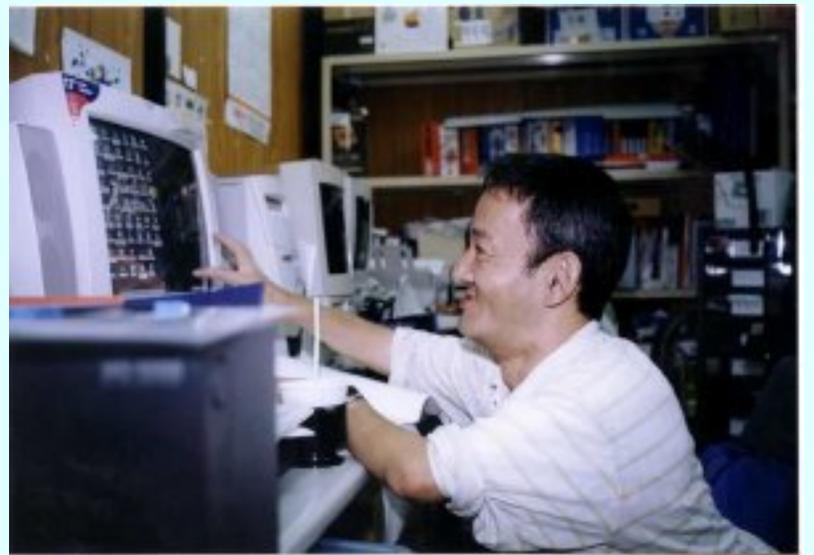
ば学区で行われるのを見るけど京教大の校庭は広くて走りがいがある、一度に二種目同時に行えそうな解放感が漂います。これだけ多数の障害者が集まるのは年に何回あるでしょう。最近心身の調子が悪くて困っています、持病の左耳が



痛みを帯びて聞こえにくくなったり寝起きが良くなかったりで気分転換で散歩もするけどなんとなく回復感がないのです。7月南区社協のユースアクション事業で3日間中学生に作業や介助をしていただきました、今年は4人で普段こない人もこの日ばかりは集合と思えば四人集まるでK君が来れなかったのが残念でした、若い娘に囲まれて幸せ！以外と僕の勝手な想像に過ぎて実は炎天下猛暑で自宅から通うのも大変なのかと思う、この日のA君の昼食うらやましいなあ、



次の日は社会見学で新しくオープンしたジャスコ久御山店へ行きました、明るい店内で広くてゆったりとした通路やエレベーターは快適でした、その日は車いすを体験していて感じたのですが、段差が少ないのは移動しやすく嬉しいのですがスロープも勾配が激しいと進む時や制動に気をつかうような気がします、但し一日体験した者と常時使用している人とは経験の浅差も感じています。映画が車いすで見られるのは楽しい事です、それも邦画から洋画まで選べるし遊びには最高の場所だと思います、スターウォーズを勧賞



しました迫力あって最高の気分を満喫しました。市内でも近年テルサ、駅ビル、その他も含め障害者も外へ出やすくなった、でも行動範囲は制約がまだ々ありそう、歩道も整備されてきたけど物が多くて車いすで移動しにくい個所も多く階段に近い歩道もあり車いすでは乗りあがる事が出来ず車道を通らなければならないので少しの外出も労働感覚です。交通機関を利用するにも限りが多い、近年市バスの走らない区間の民間バスにもリフト付きバスを運行してほしいものです、周辺からの行動半径も広がるので実現してほしいものです、ふと感じた事も書いたけど楽しい出来

事でした。

永井大資



こなな出来事

1998年11月～現在まで

- 4月15日（木）バリアフリー99見学 インテックス大阪
- 5月22日23日京都市消費者まつり参加 ミヤコメッセ
- 5月30日（日）京都市障害者体育大会 教育大学グラウンド
- 6月20日（日）卓球バレー大会参加 府立体育館
- 6月25日（金）ジャスコ洛南店1周年イベントへ出店
- 7月25日（日）洛南身体障害者福祉会館夏祭り参加ノートパソコンでゲームをする
- 7月28日～30日南区社協ユースアクション受講生受入（3名）
- 7月29日（木）社会見学 ジャスコ久御山店

大串勝康のイラストコーナー



亀岡のグループホームに宿泊して

僕は、6月7日に亀岡のグループホームに一泊しました。大崎さんの運転で行きました。着いてからみんなで夕食を食べ、いろいろ話をして風呂には入らず夜も遅いので歯磨きをして、寝ました。ベットは僕には高いので夜中に床に布団を敷き、なんとか寝られました。そして朝7時に起き、顔を洗い、朝ご飯を食べ、荷物をまとめ、大崎さんの迎えでワークスに行きました。そして思ったことは亀岡は空気がよいことと、まだ自分には一人暮らしはまだまだ先のことだと思いました。JCILの矢吹さんや、仲間の人たちと話すことが出来て勉強になり、すこしずつ僕も頑張っていこうと思いました。みなさんこれからもよろしくおねがいします。

奥 匡秀

亀岡地域自立ホーム

亀岡のグループホームとは

J C I L は自分で選んだ地域で独立した自立生活を営む権利は当然保証されるべきだと考えます。J C I L は地域自立ホームにおいて障害者が一人の社会人として独立した自立生活を送るための能力開発を身につける訓練を行います。



自立生活プログラムとは

障害者が今までの生活環境の中で、自分には出来ないあきらめてしまっていたことや、やってみたくても許してもらえなかったことも含めた、自立生活に向けてのプログラムのことです。

設立目的

障害者は、施設での生活や家族との生活の中で、隔離され庇護される立場でした。自立生活を行うためには、そういった生活の中で、失われてしまった能力や、得ることが出来なかった能力を自分自身で取り戻し作り出していかなければなりません。

亀岡地域自立ホームでは、障害者が地域で自立生活を行うための能力開発訓練やより体系的な「自立生活プログラム」の場として設立されました。

居室5部屋と研修室があります。

日本自立生活センターホームページより [www.ky.xaxon.ne.jp/^matuki]



WORK'S共同作業所は誠に勝手ながら

8月12日（木）～17日（火）

夏休みとさせていただきます

休み期間中は、Emailで

masahiko@ky.xaxon.ne.jp

masaji@balloon.ne.jp.

nhm672@kyoto-inet.or.jp までお願いいたします